

平成 21 年 4 月 20 日現在

研究種目：基盤研究 (C)
研究期間：2006 ～2010年4月16日
課題番号：18530591
研究課題名(和文) シュタイナー教育とその周辺領域への参与観察による人智学共同体の教育人間学的解明
研究課題名(英文) Clinical and Philosophical Consideration on the anthroposophical community through a participant observation into the Waldorf school
研究代表者 西平 直 (NISHIHIRA TADASHI)
京都大学・大学院教育学研究科・教授
研究者番号：90228205

研究分野：社会科学
科研費の分科・細目：教育学・教育学
キーワード：シュタイナー教育・人智学・スピリチュアリティ・世代継承

1. 研究計画の概要

本研究はシュタイナー教育を中心に我が国でも様々な広がりを見せている「人智学共同体 anthropological community」を人間形成の視点から解明するものである。

この共同体運動は現代社会に対するオルタナティブの試みであると考えられる。ではその担い手たち(保護者・教師・協力者・賛同者など)は何を求めているのか。①参加者の人間形成、②現代社会におけるスピリチュアリティの探求、③オルタナティブな価値の世代間継承、という三つの視点から教育人間学的に解明するものである。

2. 研究の進捗状況

(1) 情報提供者である川手鷹彦氏の協力を得て、沖縄の治療教育研究所「うーじぬふぁー」を訪問し、子どもたちとその保護者たちへのインタビューを行った。

(2) 京都の京田辺シュタイナー学校において、11年生クラスのエポック授業を担当し、シュタイナー教育への参与観察を行うとともに、教員たちへのインタビューを行った。

(3) 学校法人シュタイナー学園においては、

高等部(10-12年生)クラスにおいて特別講義を行うなど現代社会における自己の在り方をめぐって議論を深めた。

(4) 文献研究としては、世阿弥の稽古哲学と深める中で、シュタイナーの教育思想を読み直す視点を深めた。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

(1) 参与観察については、上記に見たとおり、継続的に行われ、観察記録も蓄積されつつある

(2) 並行して理論研究も行われている。理論研究の焦点は二点である。ひとつは、「霊性・スピリチュアリティ」の問題。もうひとつは、「無の思想・世阿弥の思想」である。

(3) シュタイナー教育に期待する親世代の意識地平を理解するためには、人智学にのみ焦点を当てていたのでは不十分である。人智学を核としたその周辺を捉える視点が重要になる。そのために「霊性」概念との関連が検討課題となり、あるいは「精神世界」という言葉を視野に入れる必要がある。

(4) シュタイナー教育の根底にある思想的構図を日本の言葉で解きほぐすためには、「芸道思想」が手掛かりになると思われる。むしろ、この二つの思想が思想的に同一であるという意味ではない。むしろ、その「違い」を明確にする仕方で、シュタイナー教育の独自性を際立たせる。その対比のための媒介項として「世阿弥の稽古哲学」の考察を深めることになった。

(5) こうした課題はすべて、前回の科学研究費課題からの継続である。

4. 今後の研究の推進方策

参与観察を継続することはもちろんであるが、文献研究を充実させる予定である。とりわけ、世阿弥の稽古哲学の検討を継続する中でシュタイナーの教育思想を読み直す視点を明確にしてゆく。また研究を整理する枠組みとして「アイデンティティ」論との関連も明確にしてゆくことになるとと思われる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 12件)

- 1、西平直「連載・巡礼としてのシュタイナー教育・第一回～第四回」『真夜中』(リトルモア、2008年)創刊号、108-111頁、第2号、98-101頁、第3号、101-104頁、第4号114-118頁。査読なし
- 2、西平直「世阿弥『伝書』における「いまここ」－「時に用ゆるをもて花と知るべし」『人間性心理学研究』第25巻－第2号2008年、37-48頁。査読あり
- 3、西平直「世阿弥の稽古論－全体構図とつまみ食い」『関西教育学会年報』第32号、2008年、177-181頁 査読なし
- 4、西平直「子どもと無心－世阿弥における稽古の逆説」 哲学会(東京大学文学

部哲学科)編『哲学雑誌』第122巻－第794号、特集「子ども」(有斐閣、2007年)58-76頁 査読あり

〔図書〕(計5件)

- 1、西平直「スピリチュアル・ケアと「我執性」」日本ホリスティック教育協会編『ホリスティック・ケア－新たなつながりの中の看護・福祉・教育』(せせらぎ出版、2009年)156-171頁
- 2、西平直「ライフサイクルの二重性－矛盾・逆説・循環」武川正吾・西平直共編『シリーズ死生学 第三巻・死とライフサイクル』(東京大学出版会、2008年)133-151頁
- 3、西平直「宗教哲学：概念と方法」『岩波講座哲学・第13巻・宗教』(岩波書店、2008年)234-252頁。
- 4、西平直「いのちの教育－常にその批判とともに」高野山大学選書第3巻『現代に密教を問う』(小学館スクウェア、2006年)、142-143頁。
- 5、西平直「身体性(からだ)の哲学」『放送大学大学院教材 現代身体教育論』(放送大学教育振興会、2006年)112-122頁。